

## ◆ 祥雲寺桜台墓苑

夫婦墓・個人墓として、小規模のお墓です。

近年、後継者が居られない方、お一人でお過ごしの方など、様々なご事情をお持ちの方が、ずいぶん多く居られるようになりました。そうした方からのお墓のご要望やご相談を承って、できるだけ多くの方に寺院墓地としてお譲りできる方法を考えておりました。漸く下記の様式で、境内墓地を分譲できるよう区画整備いたしました。また、永代供養墓も建立しましたので、併せてご案内いたします。

## ◆ 夫婦墓・個人墓について

- ・ご夫婦お二人でお入りになりたい方
- ・お墓の後ろを見る継承者がいない方
- ・お一人でお入りになる方
- ・生前に墓地を求められる寿陵も可能です

概ね13回忌を目安として(使用規則では3年間となります。)永代供養墓へお移しし、33回忌をもって合祀いたします。

〈費用〉永代使用料 18万円 入檀志納金 10万円  
墓石建立費 80万円～  
その他(管理費・護持会費・開眼供養料・供養塔婆代)



中区画 高級仕上げ

## Access

### 公共交通機関ご利用の場合

最寄り駅「JR木更津駅」  
・特急さざなみにてJR木更津駅下車(東京駅より60分)  
・木更津駅東口行き高速バス(品川・横浜・川崎・羽田方面より60分)  
JR木更津駅より日東交通バス  
東口バス停「真舟団地循環」  
西口バス停「栗倉・周南公民館・君津駅南口」  
国道請西下車5分  
川沿いを山に向かって200m



### 自動車ご利用の場合

—— 東京・神奈川方面から ——  
アクアライン経由、袖ヶ浦IC  
国道16号を館山方面へ6キロ  
マクドナルドを過ぎ、三菱自動車を左折  
川沿いを山に向かって200m

—— 千葉・館山方面から ——  
館山道、木更津南ICより、  
国道16号を千葉方面へ2.5キロ  
君津中央病院先、昭和シェルGSを左側道へ、  
タカヨシブックセンター先、三菱自動車を右折  
川沿いを山に向かって200m

曹洞宗 八幡山 祥雲寺  
〒292-0801 千葉県木更津市請西1012-1  
TEL・FAX.0438-36-6827



曹洞宗 八幡山  
祥雲寺

遠望夕景の富士(当寺より)



## ◆ 祥雲寺のご紹介

当寺は、木更津市の市街地を望む、通称「祥雲寺山」の中腹に位置し、眼前に東京湾を配し、富士山を遠望する地にあります。

春は桜、そして紫陽花、彼岸花と近隣地域の開発が進む中で、自然が残された、恵まれた寺域であります。桜は百年になろうかという古木です。

### 《開山のいわれ》

開闢は、当山東側の望地谷地区に現存する大綱一族の菩提寺として、室町時代、嘉吉年間（1440年頃）であると言われ、一族の墓所の中央に、「当寺開山 大綱家 雪江院梅翁道白居士」の墓石があり、嘉吉二年の没年が刻まれています。

曹洞宗（禅宗）としての開山は、天文年間（1538年頃）、徳川家康公の大叔父にあたりと言われる、鐵山受白大和尚が、浜松市肴町大安寺（または長野市大安寺）より、君津市鎌滝 天南寺二世として、当地に錫され、数ヶ寺を開かれました。この縁により大正時代に製作された幔幕には葵の紋が染め抜かれておりました。

### 《戊辰の役での難》

当山東側には真武根陣屋跡があり、請西藩（林藩）の屋敷がありました。第四代林 昌之助忠崇は、徳川幕府への忠義の思い篤く、当主自ら脱藩し、伊庭八郎率いる遊撃隊と共に、箱根から奥州に転戦しますが、出兵に際し、陣屋に火を放ちました。同じくして当寺も焼失いたしました。その後、富津飯野藩保科氏により、間口15間の大本堂が、復興されました。

### 《木更津高校発祥》

明治33（1900）年、「遠く富嶽を西にして…」と校歌にあるように、県立千葉中学木更津分校として開校した現木更津高校は、開校当時、学舎が成るまで当寺の本堂を約半年間使用していました。この校歌は当山からの景色を歌われたものかもしれません。

### 《関東大震災の難》

その後、新潟県長岡より、三十三世 泰嶽周善大和尚を迎えました。周善和尚は市内を托鉢行によって資金を募り、本堂屋根の瓦葺き替えなどを、成し遂げました。しかし、大正12（1923）年、関東大震災によってこの大本堂は倒壊し、平成元年まで、仮本堂にて過ごしました。

### 《木更津八景のひとつ》

この頃は、あまり聞かなくなりましたが、『木更津八景』があります。その一つに「祥雲寺の秋月」があげられています。山の上にかかる月は、すすきの穂と相まって、直ぐそばまで宅地開発が迫っていることを忘れさせます。

### 《遠く富嶽を望みて》

眼前に黒く広がる東京湾とその奥に配する富士は西上総の絶景、併せて、夕刻の黒富士は、当地の宝といえます。



本尊釈迦如来



木更津八景の一つ「祥雲寺の秋月」

## ◆ 祥雲寺の行事

正月（元朝会）	八月（盆行事）
二月（節分会）	二十日（施食会）
三月（春彼岸法会）	九月（秋彼岸法会）
四月（はなまつり）	十月（稲荷祭）
六月（布教法話の会）	十二月（除夜）

・毎月第四土曜日 午後二時より「洗心」坐禅会

